

資 料
No. 3
都市整備部

平成 24 年 3 月 23 日

## 高砂駅周辺地区の街づくりについて

### 1 概要

京成本線（京成高砂駅から江戸川駅付近）については、平成 16 年度に東京都が策定した「踏切対策基本方針」において、「鉄道立体化の検討対象区間」の 20 区間に位置づけられた。平成 20 年 6 月には、この 20 区間から新たに国の事業採択を目指す「事業候補区間」の 5 区間に選定され、東京都では、今後、技術的課題や街づくりの進捗などを勘案し、次期の新規着工準備採択に向けて取り組んでいくことが発表された。

当該区間が、早期に事業化区間として選ばれるためには、地元の熱意とともに駅を中心とした交通結節点機能の強化や地域の活性化など、事業効果を最大限に発揮する総合的な街づくりを推進していくことが必要である。

### 2 活動状況報告

高砂地区開発協議会では、平成 17 年度からの活動の成果を「高砂駅周辺まちづくり基本構想」として取りまとめ、平成 21 年 6 月に協議会から区に提案された。

この基本構想を踏まえ、今年度からは、地権者を中心とする地区別の勉強会を開催している。

地区別勉強会では、「駅前広場など基盤整備と魅力的な商業環境の形成」や「安心して住み続けられる住環境の改善と防災性の向上」といった項目に関心が寄せられた地区を優先に、高砂の「駅周辺地区」と「南地区」の 2 地区において勉強会を開催し、先進地区の事例視察などを実施しながら街づくりの検討を行っている。

今後は、こうした地区別勉強会を通して、鉄道立体化に併せた総合的な街づくりを推進するため、駅周辺の交通利便性や防災性の向上、魅力と活力ある街づくりを進めていく。

なお、地区別勉強会の検討内容については、勉強会ニュースとして高砂地区の勉強会開催地区を対象に配布するほか、町会の掲示板などを活用し、勉強会ニュースを掲示している。また、高砂地区センターにニュースを置くほか区のホームページにも掲載している。

○駅周辺地区勉強会資料【資料 1～3】

○南地区勉強会資料【資料 4～6】